

CASBEE[®]新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.3)

1. 建物概要

建物名称	(仮称)特別養護老人ホーム 岩室	
建設地	西蒲区 橋本字夷崎1003-1外	
用途地域	市街化調整区域	
建物用途	病院	
竣工年	2014年2月 予定	
敷地面積	7,575.01 m ²	
建築面積	2,543.58 m ²	
延床面積	4,797.82 m ²	
階数	地上3階	
構造	RC造	
評価の段階	実施設計段階評価	
評価の実施日	2013年4月1日	

2. CASBEE新潟の評価結果

	B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{50}{42} = 1.1$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	3.5		バリアフリー	3.0
			維持管理	4.5
			更新性	3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	3.1		耐震・免震	3.0
			信頼性	3.2
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	3.0		建物の熱負荷抑制	3.0
			自然エネルギー利用	3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	3.7		節水	3.0
			リサイクル材の使用	5.0
			再利用可能性向上	3.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	2.5		生物環境の保全・創出	1.0
			敷地内温熱環境の向上	4.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	3.0		まちなみ・景観への配慮	3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	3.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

福祉施設に対する防災意識が高まっている。当施設では堅牢な鉄筋コンクリート造、耐火建築物とした上で、居住スペースを2階までの低層に抑えることで、火災時などに対し、スムーズに避難を行えるよう計画している。避難を補完する為に、スプリンクラー設備、避難器具、一時退避スペースも確保した。停電時にも電源を供給できるよう、非常電源設備やソーラーパネルの計画もしている。

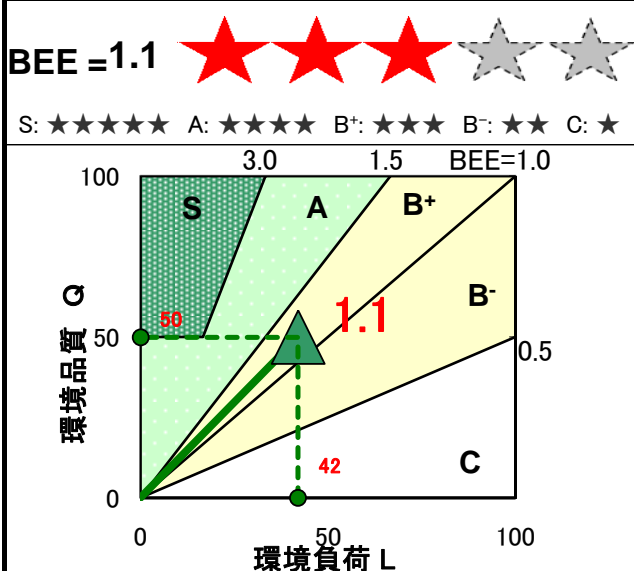
■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

CASBEE® 新潟

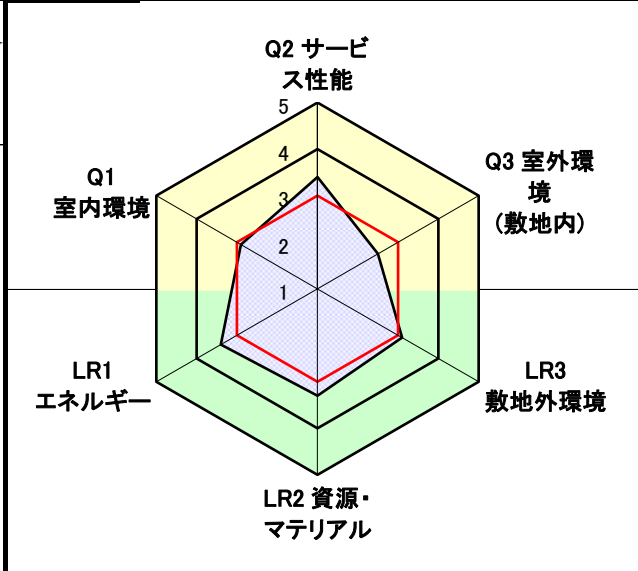
評価結果内訳

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.3)

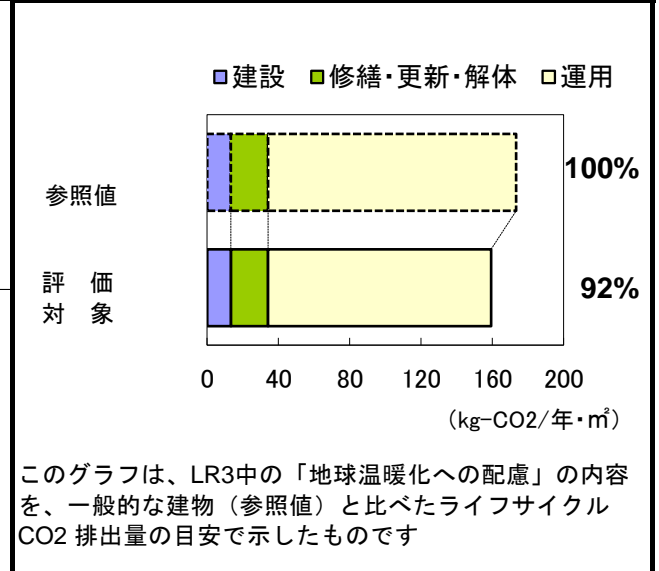
2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)



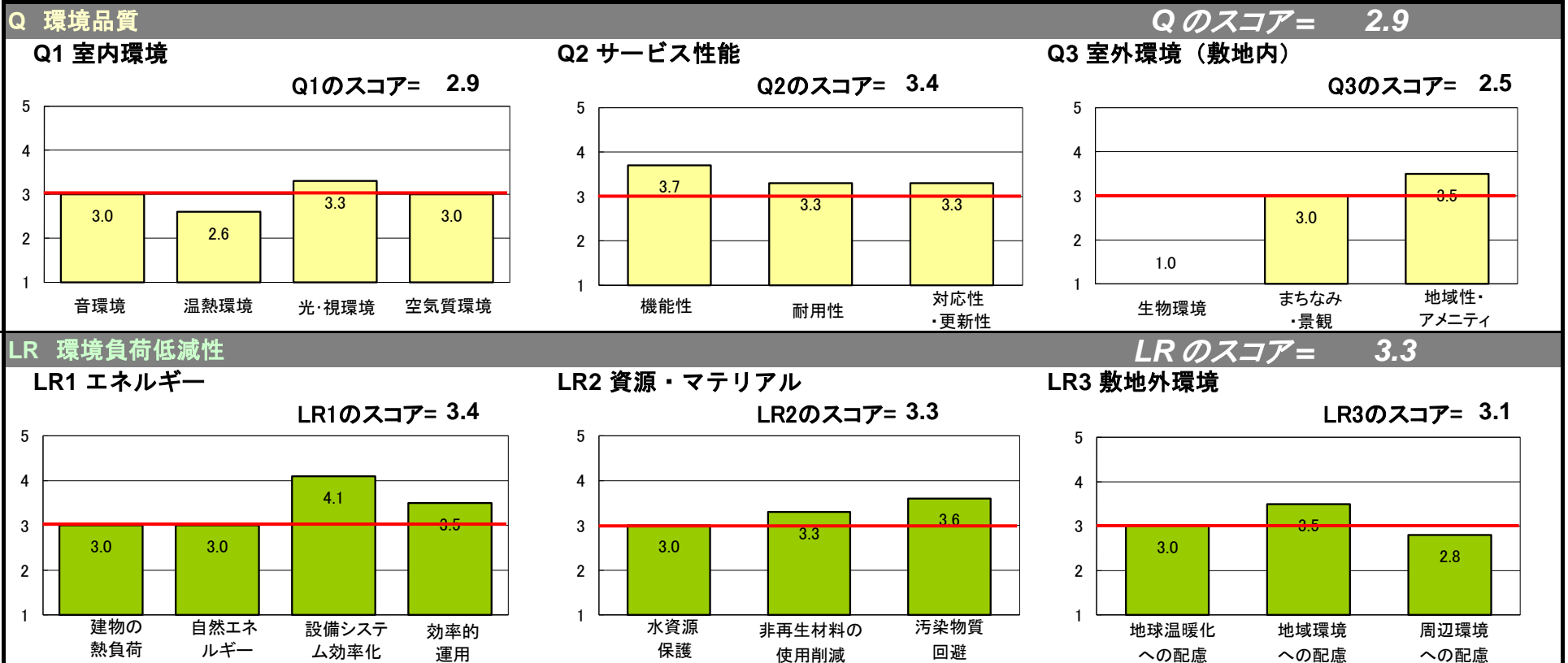
2-2 大項目の評価 (レーダーチャート)



2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-4 中項目の評価 (バーチャート)



2-5 設計上の配慮事項

<p>総合</p> <p>福祉施設に対する防災意識が高まっている。当施設では堅牢な鉄筋コンクリート造、耐火建築物とした上で、居住スペースを2階までの低層に抑えることで、火災時などに対し、スムーズに避難を行えるよう計画している。避難を補完する為に、スプリンクラー設備、避難器具、一時退避スペースも確保した。停電時にも電源を供給できるよう、非常電源設備やソーラーパネルの計画もしている。</p>	<p>その他</p> <p>今まで特養に入れなかった、医療依存度の高い方も入所できるよう配慮している。1つは居室に酸素療法、たんの吸引ができるように設備計画をしたこと、もう1つは隣接した土地に透析専用診療所を設けることである。</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>屋根は外断熱とし、外壁は断熱材吹付け、開口部は複層ガラスとすることで、建物全体の断熱性を高めている。自然採光、自然通風を原則とし、開放的で気持ちの良い室内環境を創出する。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>外装は防水型複層仕上塗材Eの中でも高い耐久性のあるフッ素樹脂系を採用することで、維持管理を容易にしている。内装仕上げは木質系材料を積極的に使用し、家庭的で温かみのある室内環境を目指している。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>水蓄熱の熱源に大温度差変流量タイプのヒートポンプチャラーを採用することで、高効率な空調システムを実現し、ランニングコスト、省エネルギーに寄与している。併せて水蓄熱は深夜電力を利用する為、エネルギーのピークカットにも貢献している。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>再生クラッシャーランや廃瓦再生景観舗装、リサイクルウッド等のリサイクル材を積極的に利用し、持続可能な資源循環型社会づくりに貢献する。また水も限られた資源と考え、衛生器具設備は節水型を採用する。</p>
	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>敷地を最大限に利用し、また安全に利用できるように、建物と駐車場スペースを明確に分離している。乗入は利用者用乗入と厨房・廃棄物処理業者用乗入を用意することにより、安全にかつ利用しやすくなっている。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される